

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	健康づくり課
会議名 (審議会等名)	令和3年度 第2回嬉野市食育推進会議		
開催日時	令和4年2月17日(木) 14:00～15:03		
開催場所	嬉野市中央公民館 大集会室		
会議の公開の可否	㊦ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委員	森サチ子委員、江口智子委員、福田智代委員 古賀恭子委員、川原みさ子委員、峰松美佐子委員 松尾明美委員、椎名 寿委員、浦川良子委員 溝口紘子委員、尾形有紀委員	
	事務局	市民福祉部長、健康づくり課長 健康づくり課統括保健師、健康づくり課副課長 健康づくり課主任	
	その他		
会議の議題	別紙のとおり		
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議レジメ ・ 別添 ①市報11月号 ②ヘルスマイトだより 		
審議等の内容	別紙のとおり		

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

	所管課	健康づくり課
審議経過	<p>1. 開会</p> <p>2. 市民福祉部長挨拶</p> <p>コロナの影響で食生活に変化がある人も多いと聞いている。農林水産省の2021年度「食育に関する調査」では食への関心が高い人は多いがバランスの良い食事をとる割合は多くないという結果だった。食に関することは実践が難しいが今後も皆さんの御協力のもとすすめていきたい。また、この会議の委員を務めていただいている2団体が食育賞を受賞された。この会の日頃の活動が素晴らしいものと感謝申し上げる。</p> <p>3. 嬉野市食育推進会議会長挨拶</p> <p>日頃の皆さんの活動が食育の推進につながっている。今後の食育推進について御討議をお願いしたい。</p> <p>4. 協議事項</p> <p>【事務局】</p> <p>出席者数11名、委員総数14名の過半数を超えているので本会議は成立する。</p> <p>(1) 令和3年度嬉野市食育推進事業報告について</p> <p>1) 食育推進事業について</p> <p>【事務局】P1・2について説明</p> <p>1回目の食育推進会議では食育推進計画の中間評価を実施し、子どもの食育の重要性が課題になった。多くの意見の中から朝食をバランスよく摂ることに、みんなで取り組んではどうかということで「味噌玉」が提案され、その普及啓発をしていくことになり、作り方のちらしを配布する活動等をしていただいた。</p> <p>コロナ禍で縮小する活動もあったが、児童生徒の料理教室・食育教室については学校からの要望が多く、令和2年度が15回595人の実績に対し、今年度は現段階で20回656人と多くの活動を実施した。</p> <p>乳幼児健診での食育指導で、朝食をバランスよく食べている人は3割弱しかおらず、「味噌玉」の資料を配布しながら推進している。</p> <p>2) 食育広報及び食育推進に関する調査について</p> <p>【事務局】P3・4について説明</p> <p>この会で推進する「味噌玉」について市報11月号で広報した。(市報11月号参照)また、食育賞の受賞報告や授賞式について広報した。</p> <p>3) その他の事業取組みについて</p> <p>【事務局】P5～34について説明</p> <p>(2) 委員の皆様の食育活動について</p> <p>テーマ「バランスの良い食事についてはたらきかけ」</p>	

審議経過

1) 現状について（事前アンケートを参考に）

【委員】乳幼児という一番関心の高い時期に、野菜について知ってもらい、おいしく食べてもらおうという活動をしている。散歩、絵本、手遊びなど様々な活動で野菜を取り入れるようにしている。栽培ができるようになったらその収穫物を給食で使用したり自分たちで調理したりすることで野菜嫌いがでてくる時期でも食べることができている。コロナ禍で保護者に見せる機会が少なかったので、楽しそうに野菜を栽培したり調理したり食べたりする様子を写真撮影しコメントを載せたおたよりをたくさん配信した。

【委員】園の給食ではよく食べるけど自宅ではなかなか食べないとよく聞くが、そのあたりはどうか。

【委員】集団の力が大きいと思う。誰かがそばにいてほめたりはげましたりしてくれるということも家庭も同じだが大切だと思う。

【委員】だんだん歳をとってくると食への理想と現実というところが出てくるが、小さいころから取り組むことで、理想と現実の差を親子で克服していくことができるのではないかと思った。

【委員】バランスを心掛けても実践するのが難しいが、それを実践できるようにするのが私たちの役割だと思っている。色々伝えたいことがあるが、まず、朝食を大切にごはんとみそ汁が日本人に合う健康食であるということを今年度は小・中・高校生に話した。「朝食で週に1～2回はみそ汁を食べようね。」ということを強調して話した。簡単にできる「味噌玉」を活用することも推進した。小学校の食育教室の際、家庭でみそ汁を食べているかどうかたずねると、クラスの21名中3名しか食べている人はいなかったことに驚いた。他の学校でも半数ぐらいしかいない。全員が食べている学校はひとつもなかった。みそ汁の良さを伝え、その後、追跡調査をしたら3名から12～13名に増えており、効果があったことに喜んだ。実践を促すには、あまりにもたくさんの目標を掲げないで簡単にできる方法を伝えて、家族みんなで実践できるように進めていくことが効果的なのではないかと感じている。

【委員】それぞれの施設で様々な食育をされているが、家庭での食育も大切だと感じているので、保護者をまき込んだ食に対する意識を強めていこうと、あえて昼食の様子を保護者参観で見てもらったりリモートで配信したりしている。保護者の中には朝食抜きやコンビニの食事等、まだまだ意識が薄い人もいるので、園での子どもへの食育とは別に保護者の意識を向上させることにも取り組んでいる。もうひとつは、郷土の特産物、特にお茶の良さをお茶工場の見学に行く等、園の中での保育を通して郷土の魅力を伝え、郷土愛が育まれるようにしている。

2) 今後の課題と来年度のテーマについて

【委員】これまでの意見を踏まえて、今年度の活動を継続するか、新しいテーマを設けて取り組んでいくか話し合いたい。「味噌玉」については市報にも掲載され、簡単にできる方法として進めていっていいのではないかと思うがいかがか。

【委員】白石町の乳幼児健診に関わっているが、お母さん達は園では食べるが家では食べないと言われる。そういう時はお母さんに「お母さん、一緒に食べていますか。」

審議経過

「お母さんがおいしく食べている姿を見せていますか。」と聞く。子どもは親の真似をする。お母さんがおいしく食べている様子を見せれば食べるのではないかと思う。お母さん達は食べさせることに集中して、一緒に楽しくおいしく食べていないのではないか。子どもの野菜嫌いがでてくる時期に、まずはお母さんが野菜をおいしく食べる姿を見せてほしいと伝えている。他にも、小さいころから一緒に台所に入って味見をさせることをすすめている。そこでおいしいと思えば、その後食べてくれるかも。子どもにさせるではなく一緒にすることがいいのではないか。「味噌玉」も簡単なので一緒に作ることができる。子どもが学校や保育園で作ったものを持ち帰り、お母さんに食べさせる、それを喜んでお母さんが食べると子どもも喜び、一緒に作ろうかということになり、みそ汁を食べることが習慣化するのではないか。作り方を子どもに教え、子どもから親に伝えると最終的に子どもの食育につながっていくのではないかと思う。

【委員】親が子どもと一緒においしいと言って食べると本当においしいし栄養にもなると言われている。家族団らんを進めるためにどうにかしなくてはならないと感じている。みそ汁を食べる時に、みその作り方や栄養があること等を話してあげると子ども達も興味を持って食べると思う。みそ汁がとても良い栄養食品だということを知っている人がどれくらいいるだろうか。親が正しい栄養の知識を持っていないと自信をもって伝えられない。

【委員】来年度はバランスの良い食事の中でもみそ汁を食べることでバランスをとるという方向性でいくか。他に意見はないか。

【委員】お母さんが一緒に食べておいしく食べる姿をみせることや味見をさせるという話はすごくいいなと思った。「味噌玉」をテーマにしたが、あれこれ難しいことを言っても忙しいお母さん達には難しいと思う。簡単な「味噌玉」はいいテーマだと思う。野菜を食べることもそうだが、ポイントをしぼって分かりやすく進めるといいのではないか。子どもの食事はおとなから影響を受けるので、親をどう支援するかが大切なのではないか。

【委員】孫に食事を作り「味見して。」と言うと体験しながら苦手なものも食べている。自然・季節感の体験をしながら、楽しかったなとか大切だなという経験をする 것도大切。核家族ではなかなか難しいと思うが少しでもそのようなことを心掛けると豊かになるのではないか。

【委員】今年度はコロナ禍であまりできてはいないが、今後も「味噌玉」や発酵食品を推進していけばいいなと思う。

【委員】「味噌玉」の推進はみんなで色んな方面から推進でき、いい取り組みだったと思う。「バランスの良い食事についてはたらきかけ」は朝食の摂取にもつながることでもあるし、学校給食の面からも進めやすい。今年度と同じテーマで良いのではないか。

【委員】5・6年生には調理実習でバランスの良い食事を指導している。その他の学年も給食を使ってバランスの良い食事を指導している。来年度も同じテーマで続けてもらったら、そこにも生かせると思う。

<p>審議経過</p>	<p>【委員】 コロナがなるべく早く収束して活動が進めていけたらいいと思う。「バランスの良い食事についてはたらきかけ」という大きなテーマではあるが、来年度も引き続き進めていくことでよいか。</p> <p>(3) 令和4年度嬉野市食育推進事業計画について</p> <p>1) 食育推進事業計画(案)について</p> <p>【事務局】 食育は結果が見えづらいので難しい。しかし、取り組まないと今以上に悪くなるのではないかと感じている。来年度も同じ方向を向いて、なるべく家庭への関りができる活動への御協力をお願いしたい。</p> <p>【事務局】 P36 について説明</p> <p>はつらつ料理教室は来年度から中止する。</p> <p>2) 食育広報及び食育推進に関する調査について</p> <p>【事務局】 P37 について説明</p> <p>前回の会議で、「味噌玉」作りを学校や保育園で実施し、その様子を市報に載せると保護者の関心も引くのではないかという提案をいただいた。来年度、そのような取り組みを実施される場合は取材したいので御一報いただきたい。</p> <p>【委員】 「味噌玉」に終始した内容となったが、大切なことだと思う。子どもだけではなく一人暮らしの高齢者にもすすめていきたいと思った。</p> <p>5. その他</p> <p>(1) 嬉野市食育推進会議委員名簿</p> <p>6. 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
-------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------